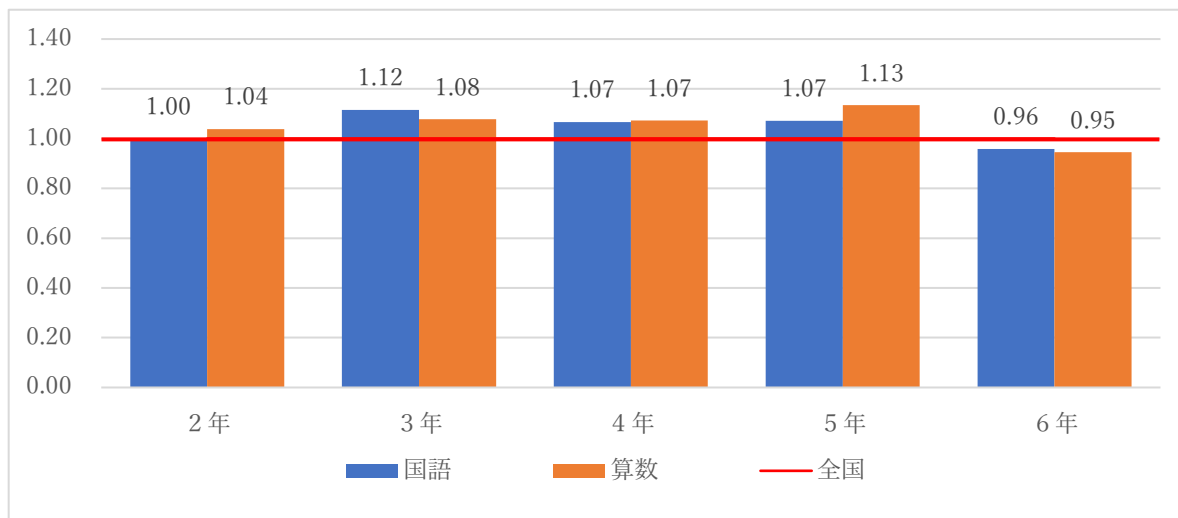


令和5年度 全国学力・学習状況調査及び学習到達度調査について
第六中学校区 国松緑丘小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

学習到達度調査	国語	全学年で全国平均を上回ったが、「読むこと」領域では下回る学年もあり、全校的に取り組む課題である。意見や考えの根拠を文章内に的確に見つけ、問われている内容を明確にして考える力を養う必要がある。
	算数	全学年で全国平均を上回り、特に基本問題や「数と計算」領域では全国平均を上回ったが、活用問題や「図形」領域に課題が見られる。引き続き、きめ細かな指導を行い、課題克服を図る。
全国学力・学習状況調査	国語	「言葉の特徴や使い方に関する事項」等で成果が出ているが、「書くこと」領域に課題が見られた。引き続き、ディベート学習等を通して、複数の情報を正確に捉え、適切に文章化する練習を重ねていく。
	算数	「数と計算」「図形」領域で課題が見られた。算数科の校内研究を進め、授業改善を図る中で、根本的な理解を問う問題に触れる授業を増やし、なぜそうなるかを考えられる力を育てていく。
	質問紙	「学校に行くのは楽しい」「先生は自分のことを褒めてくれる」など、肯定的回答が平均より約10ポイント高く、学校生活や学校の授業にはとても好意的にとらえているが、「家庭学習の時間」に関する回答が低い。全校的取組として家庭学習の充実を図る必要がある。

○学力向上の取組

【 中学校区 】

各種調査の結果を踏まえ、小中連携会議において課題の共有と対応策の構築を図っている。また、中学校教師による小学校への出前授業など、中学校区3校で連携した取組を行い、引き続き、小中学校の学習体制の段差を解消し、小中一貫教育の強化を図っていく。

【 学 校 】

各種調査結果を全教職員で共有し、各学年の分析、課題の把握、今後の取組について全教職員で研修を行う。また、ディベート学習をはじめ、各教科の授業において話し合いや発表の場を適宜入れ、「考える力」の育成を図り、「主体的、対話的で深い学び」を追求した授業づくりを実践する中で、「わかる授業」「できる授業」への授業改善に取り組む。